

安城産業文化公園（デンパーク）及び 道の駅デンパーク安城指定管理者の候補者選定結果

安城市指定管理者選定委員会において、指定管理者の候補者となる団体を次のとおり選定しました。

- | | |
|------------|--|
| 1 施設名 | 安城産業文化公園（デンパーク）及び道の駅デンパーク安城 |
| 2 指定管理者候補者 | 公益財団法人安城都市農業振興協会
安城市赤松町梶 1 番地 |
| 3 指定期間 | 令和 6 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで
（5 年間） |
| 4 指定管理料提案額 | 2, 1 3 8, 3 5 2 千円（5 年間総額） <u>※注 1</u> |
| 5 選定委員会開催日 | 令和 5 年 1 0 月 1 9 日 |
| 6 選定理由 | |

デンパークは、都市と農村との交流や憩いと安らぎの場を提供するとともに、農業を始めとする産業振興を目的に、デンマークの街並みをイメージして平成 9 年に開園した産業文化公園であり、西三河地域唯一の植物園として、本市を代表する観光資源である。

公益財団法人安城都市農業振興協会（以下「協会」という。）は、平成 8 年にデンパークを管理運営することを目的として、本市を含む 1 5 団体の出捐により設立、平成 2 5 年には公益財団法人に移行し、開園以来 2 5 年に亘り管理運営している。

協会の運営実績として、安定的な入園者数と事業収益があり、累計入園者数は、令和 4 年秋には 1, 4 0 0 万人を達成する見込みで、季節ごとの花とみどり、イベント、体験、物販、飲食など多様な魅力が支持されており、公益財団法人として得た利益は、来園者に還元を図っている。中でも、植物に関する技術力は、協会が有する国内外の交流ネットワークを通じて、公共性が認知され、他の業者では担うことのできない水準となっており、公園の設置目的でもある、「都市と農村の交流」は、愛知県や JA あいち中央、農業者との共同イベントを積極的に実施することで、まさに、安城産業文化公園デンパークのあるべき姿を示す取組の充実に努めている。

上記のとおり、協会はデンパークを運営するにあたり、その設置目的を踏まえ、採算性一辺倒ではなく、社会・地域が必要とする事業を実施し、質の高いサービスを安価もしくは無料で提供することが可能であり、公共性の極めて高い市の公園の運営には、組織形態も営利を目的としない、公益財団法人である当法人にデンパークの管理運営を委託することが適切である。

道の駅デンパーク安城についても、デンパーク敷地内にあることから、一体的に管理運営することで相乗効果を図るとともに、改修を含めた今後の利活用の検討も併せて行っていくことが合理的である。

上記理由と令和 6 年度以降の事業計画、収支予算の内容が認められ、安城市指定
管理者選定委員会において指定管理者として選定された。

※注 1 消費税率について、全ての期間において 1 0 パーセントで計算した金額。